

こっこめ通信 08 2019

「 星 空 と 夏 の 花 」 号

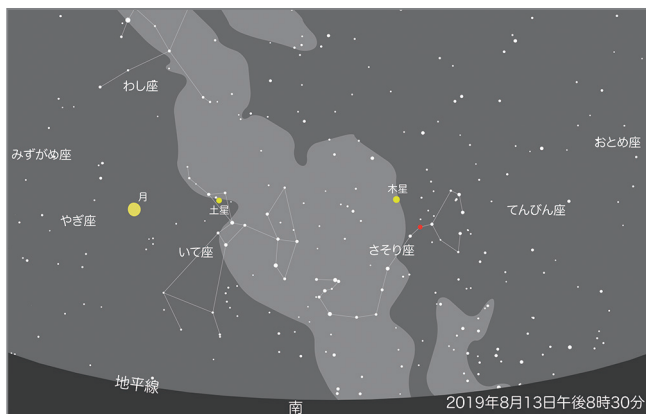


八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

暑い日が続きます。こんな時は夕涼みがてら星空を眺めてみるのも一興ですね。八丈島では雲さえなければ天の川をはっきりと見ることができます。昼間なら真夏の時期ならではの花を探してみるのも良いかもしれません。そこで今回のテーマは、「星空観望の勧め」と「解説員イチ押し夏の花」です。

夏の夜空は一等星が多く見応えがありますし、昼間野外へ出れば涼しげな花達が迎えてくれますよ。

星空観望の勧め



この時期、午後8時過ぎの南の空には天の川を挟んで木星と土星を見る事ができます。

木星は(さそり座)の隣の(へびつかい座)の中にあり、土星は(いて座)の中にあります。

またこの辺りは太陽系銀河の中心方向なので天の川の幅が最も広い部分です。

左の星図では、赤い星で有名な(さそり座)の一等星アンタレスを赤く示してあります。

この星図は8月13日のものですが、この日には(いて座)の中に満月二日前の明るい月があるので、少し星座観望の邪魔をするかも知れません。



午後8時過ぎに頭の真上を見上げると、明るく青く輝く(こと座)の一等星ベガが見えます。この星が七夕の「織り姫」です。そこから天の川を南の方へ斜めに横切ると(わし座)の一等星アルタイルがあります。これが「彦星」ですね。また、天の川を北の方へ少し遡ると(はくちょう座)の一等星デネブがあり、これら三つの星を結んでできる三角形は「夏の大きな三角」と呼ばれています。(はくちょう座)の頭にあたる場所には、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」に登場することでも有名な二重星アルビレオがあります。20倍程度の望遠鏡があれば色の違う二つの星が確認できます。



8月12日から13日はペルセウス座流星群の極大日にあたります。この流星群は比較的目立つ流星が多いのが特徴で、雲がなければ5分間に一個程度の流れ星が期待できます。

(ペルセウス座)は登ってくるのが遅いので、星図は午後10時30分のものにしました。ただ、流星は全天に流れるので、(ペルセウス座)近くに多く流れる訳ではありません。流星それぞれの光跡を遡っていくとペルセウス座の中の一点「輻射点」に集まるのでこの名がついたのです。ペルセウス座流星群の流星と他の流星を識別することに挑戦するのも面白そうです。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

解説員イチ押し夏の花

夏の花と聞いて、どんな花を思い浮かべますか？ 今月号は解説員に聞いた「イチ押し夏の花」を紹介してもらいます。

ハチジョウネッタイルン



オオハクウンラン



八丈の名の付くハチジョウネッタイルンは島の中でも限られた場所ではしか自生しておらず、株があっても花が咲かないことが多いです。白くてとても可愛い花なのでもっと身近にあれば良いのですが・・・。

オオハクウンランもとても小さく、目立たない花です。10cm ほどしかなく、気がつかないと踏んでしまいそうです。両種ともに山の中での撮影は、大粒の汗を流しながら、ヤブ蚊との戦いとなります。(H.T.)

ナツエビネ



ハチジョウギボウシ



ナツエビネとハチジョウギボウシを紹介します。

夏の暑い盛り、山でこれらの花に出会った時、私は体感温度が2,3度下がったように感じて、全てが報われた気分になります。

両種とも富士箱根伊豆国立公園の指定植物なので採取は禁止されている筈ですが、ナツエビネなどは昨年観察した株が今年は見当たらないという事も多く、その将来が少し心配です。(T.K.)

オトギリソウ



シマクサギ



「鷹匠の兄が鷹の傷の処にに使っていた秘薬がオトギリソウである事を他言してしまった弟。兄は、腹を立て弟を斬り殺してしまった。」怖い伝説を持つ弟切草(オトギリソウ)ですが、可愛らしい花を咲かせます。

シマクサギの花はとても良い香りがします。花はまるで白くて小さなウサギみたいと思うのは、私だけ？

私のイチ押し夏の花は小さな花で目立ちませんが、何故か存在感抜群です。探してみてくださいね！(M.K.)

ハマゴウ



ラセイタタマアジサイ



潮風が当たる海辺にあるハマゴウ。葉は厚めで、鼻を近付けて嗅いでみると、お香のような香りがします。

ラセイタタマアジサイは、ゴワゴワした大きな葉を持ち、ラセイタと呼ばれる毛織物に似た手触り。名前の由来でもあります。

どちらも葉は肉厚で固く、花は夏の暑さを和らげてくれるような優しい色合い。優しさの中に芯の強さを持った人のイメージが、私のイチ押しの理由です。(R.O.)

ハマオモト



ブーゲンビリア



海岸に咲くハマオモトの別名はハマユウ。種子は水に浮き、波で別の場所に運ばれて新たな場所で発芽する植物です。私はこの花の甘い香りがとても好きです。昼と夜で香りが違うらしいので確かめては？

ブーゲンビリアの紫やピンクの部分は苞といい、中心にある小さな白い部分が花になります。この花が咲くと夏が来たな～と思います。太陽と青空がとても似合うブーゲンで島の夏を感じてみてください。(M.H.)

ハチジョウコゴメグサ



ハイビスカス



私のイチ押し夏の花一つ目は、ハチジョウコゴメグサです。この花は夏に八丈富士のお鉢まで登らないと出会うことができません。汗だくになりながらやっとの思いで見つけた時は暑さを忘れてしまうほどです。

二つ目はハイビスカスです。この花を見ると南国に來たかのように感じるのは私だけでしょうか。晴れた日の夏空をバックに写真を撮るのもオススメです。きっと素敵な一枚が撮れるはず。(H.S.)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は7月14日に行いました。

八丈植物公園季節調査（2019年第7回）参加者・青木，沖山，茂手木，VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			4	イヌビワ	実	17	ホシダ	
1	アオツツラフジ	花と実	5	オオバヤシャブシ	実	18	ホラシノブ	
2	アオノクマタケラン	花	6	オオムラサキシキブ	花	19	マツバラソ	
3	アシタバ	花	7	ガクアジサイ	花	20	マメツタ	
4	アメリカスズメノヒエ	花と実	8	シロダモ	蕾	21	ミゾシダ	
5	イヌホオズキ	花と実	9	テイカカズラ	花	22	ヤマイタチシダ	
6	ウスベニニガナ	花と実	10	トベラ	若い実	23	ワラビ	
7	ウラジロチチコグサ	花と実	11	ハゼノキ	実	今回は記録した植物が少なくスペースに余裕があるので、観察した植物の中からナンカイイタチシダを紹介します。 八丈島には名前にイタチシダを含むシダ植物が4種類、イワイタチシダ・ヤマイタチシダ・オオイタチシダ・ナンカイイタチシダがありますが、それらを間違いなく識別するのは至難の業。ナンカイは「難解」の事だという意見には納得できます。 		
8	オオバコ	実	12	ハチジョウキブシ	実			
9	オニタビラコ	花	13	ヒメユズリハ	若い実			
10	オニドコロ	花	14	ホルトノキ	花			
11	コケリンドウ	花	15	モッコク	花			
12	コマツヨイグサ	花と実	16	ヤブツバキ	実			
13	タチスズメノヒエ	花と実	シダ植物					
14	テリハノブドウ	若い実	1	イシカグマ				
15	トウバナ	実	2	ウチワゴケ				
16	トキワハゼ	花	3	オオイタチシダ				
17	ドクダミ	実	4	オオタニワタリ				
18	ヒナギキョウ	花と実	5	オニヤブソテツ				
19	ヒメクグ	実	6	カニクサ				
20	ベニバナボロギク	蕾	7	タチクラマゴケ	胞子葉			
21	ヘラバヒメジョオン	花	8	タチシノブ	胞子葉			
22	ホソバツルメヒシバ	実	9	タマシダ				
23	ママコノシリヌグイ	花	10	ナチシケシダ				
24	ミツバ	実	11	ナンカイイタチシダ				
25	ヤマカモジグサ	実	12	ノキシノブ				
木本			13	ハチジョウカナワラビ		今回は公園内の草刈りが終わったばかりで草本植物が少なかったですが、シダ植物 23 種を含む 64 種の植物を観察しました。		
1	アオキ	若い実	14	ハチジョウシダ				
2	アカメガシワ	花と実	15	ハチジョウベニシダ				
3	イタビカズラ	実	16	ヒトツバ				

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ハチジョウコクワガタ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウコクワガタ *Dorcus rectus miekoae*

全国的に広く分布するコクワガタの八丈島固有亜種です。

基亜種よりも体色の赤味が強いとされています。新亜種として発表された1991年頃には島の一部地域でしか見られない珍しい昆虫でしたが、ここ数年の間に急に数を増やし、普通に見られるようになりました。有名なハチジョウノコギリクワガタが数を減らしている事と何か関係があるのでしょうか？八丈島に生息する大型のクワガタの中では灯火や樹液に集まるのはこの種だけですが、木を蹴飛ばしたりして採集するのは、自然を尊ぶ観点からお勧めできません。

(T.K.)

2019 八丈ビジターセンター 8 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります				● 1 潮だまり探検隊①	2 光るキノコ観察会	3 ガイドウォーク 光るキノコ観察会
4 ガイドウォーク 三原山縦断トレッキング 光るキノコ観察会	5 光るキノコ観察会	6 光るキノコ観察会	7 ● 立秋 光るキノコ観察会	8 光るキノコ観察会	9 光るキノコ観察会	10 ガイドウォーク 光るキノコ観察会
11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	12 ガイドウォーク 光るキノコ観察会	13 夏の星空観望会	14 光るキノコ観察会	15 ○ 潮だまり探検隊②	16 光るキノコ観察会	17 ガイドウォーク 光るキノコ観察会
18 ガイドウォーク 夏休み 「子供クラフト教室①」 光るキノコ観察会	19 光るキノコ観察会	20 光るキノコ観察会	21 光るキノコ観察会	22 ● 処暑 光るキノコ観察会	23 光るキノコ観察会	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「台風と島の天気」 光るキノコ観察会
25 ガイドウォーク 夏休み 「子供クラフト教室②」 光るキノコ観察会	26 光るキノコ観察会	27 光るキノコ観察会	28 光るキノコ観察会	29 ●	30 光るキノコ観察会	31 ガイドウォーク 光るキノコ観察会

イベントプログラム

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」①②	潮だまりに棲む生き物を採集して、みんなで観察します。濡れても良い格好で、ビーチサンダルは不可です。 ①・8/1、②・8/15 日焼け止めはしっかりね！ 10:00～11:30 小学生と保護者 現地集合・解散(当日決定) 参加費:50円 定員:15名
夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」	普段あまり通ることのないルートを楽しくトレッキングし、植物などを観察します。 8/4 雨天時は中止(当日朝決定)になります。 9:30～16:00 中学生以上 VC集合・解散 参加費:500円 定員:15名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 8/11 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名
夏休み特別行事 「夏の星空観望会」	夏の大三角形など夏を代表する星の観望会。今年はペルセウス座流星群が見られるかな？ 8/13 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上(小学生は保護者同伴・未就学児同伴不可) ビジターセンター集合・解散 参加費:50円 定員:20名
夏休み子供クラフト教室 「葉脈で飾りを作ろう！」	葉っぱの葉脈だけを取り出して飾りを作ります。 8/18 (13:30～約1時間半) 小学生(3年生までは保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名
八丈学講座 「台風と島の天気」	毎月行っている八丈学講座。今月は天気図から島に起こる気象現象を読み解きます。 8/24 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名
夏休み子供クラフト教室 「八丈島の立体地図を作ろう！」	平面の地図じゃない！八丈島の立体地図を作ります。 8/25 (13:30～約1時間半) 小学生(3年生までは保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名

夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」	8/1～8/31(火曜、木曜、8/11はお休み) 植物公園メインエントランス集合 無料 受付時間:19:20～20:00 受付の最終締め切りは20:00です。 NPO 法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。
-------------------------	---

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2019.8.1 第219号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888